

甲第118号証速記録についての考察

●杉山常好は自分への支払いのために金伊三雄、古本治三が振り出した手形を私の知らないうちに勝手に私の口座に入れ、割引をして現金を手に入れていたにも拘らず、依頼返却という形で金伊三雄、古本治三から集金をしてその金を自分のものにした。兩名の手形を私の口座に入れるのも、そして依頼返却として手形を杉山に渡すのも金庫職員の関わりがなくては出来ない事だ。杉山が二重取りをしたぶん、全く関係のない私が損害を蒙ったが、これは、杉山の詐欺横領、金庫職員（谷支店長以下金庫ぐるみと言ってよい）の私文書偽造、同行使の重罪である。何故、重罪か。個人の私文書偽造は被害者は限られるが、信用が大前提の金融機関を信用して取引する顧客が多数いるからで、その信用金庫がこのような体質では被害が増大するからである。私も当初は信用が第一の金融機関だから何かの間違いだと金庫を疑わなかったが、どうしても腑に落ちない事が多々出てきたので自ら調査する事になった。

●不動産を担保にした借入れに、頼んだはずのない杉山常好が連帯保証人になっていた。杉山は安東日明や弟の質問には、「保証人にはなっていない」と答えていたが、私の知らない間に署名・捺印をしていた。しかも、普通、契約書にはあるはずの『割印』や『印鑑証明』がなかった。杉山の明らかな嘘は書類を見れば一目瞭然である。杉山の署名は本人の自筆だからだ。

裁判では、谷肇支店長と桧垣安紀は、杉山が連帯保証人になっていると証言していたが、契約の当事者の全く知らないところで署名・捺印された連帯保証人は無効であり、それをあたかも有効であるような証言をした谷支店長と桧垣は偽証罪にあたるし、またそのような書類を杉山と組んで作成した事は、金庫職員の私文書偽造、同行使の違法行為にあたる。

●私の手形の口座や依頼返却や出金伝票の処理についても、私の知らないところで杉山と金庫職員が書類の偽造、改竄を行い、手形相当金を杉山が着服し、それを手助けしたのが金庫職員である。

それでは何故、金庫が杉山に加担したのか。発足間もない巽支店が顧客獲得のために杉山など顧客による顧客の紹介を必要としていた。その後、谷支店長は杉山から様々な接待を受け、借りを作ってしまった。飲みに行ったり、ゴルフだけでなく雄琴温泉のトルコまで接待を受けた。

杉山は公道会病院に私が入院していた時、二度訪ねて来た。一回は谷支店長

と見舞いに来た。もう一回は杉山の友人、金伊三雄を連れてきて「自分が保証するから10万円を貸してやってくれ」と言うのでその通りお金を貸した。退院後、その件を杉山に問うと、「自分が貸したから、自分で取り立てよ」と返答したので口論になった。見ず知らずの人間にお金を貸したのは、杉山が保証すると言ったからで、余りにも無責任な言動にその時限りで杉山とは絶交した。

絶交したはずの杉山の名前が連帯保証人に書かれていたり、その他依頼返却の書類などにも出てくるのは、明らかな偽造・改竄であり、平気で嘘を重ねる杉山が、接待潰けにした谷支店長を手玉に取ることは簡単な事であった。弱みを握られた谷支店長は、部下に杉山の言うとおりに次々と書類の改竄や偽造をさせ、それを使った杉山は、私の預貯金や手形相当金を詐取した。

●杉山は何度も谷支店長と直に会って話をする、とか、私のために証人として証言すると言っていたが、わざわざ東京まで足を運んできた安東と弟へのその場しのぎの弁明でしかなかった。上記からでもわかるとおり、悪事を働いた杉山と、それに加担した谷支店長とが私を入れて話をすることは出来ない。また、永和を追及する裁判で一度は偽証でその場を繕ったが、本当のことを証言する事が言えないのでそれ以上の証言は出来ないからである。

また、杉山は「おれがちょっとでもてんごしとるんやったら、おれが腹切ったる」と言っていたが、出来もしないことを大げさに言うのは、詐欺師の典型である。

●これらの事から判るとおり、永和は内部調査の結果、谷支店長やそれに加担した職員を処分するのではなく、書類を改竄し、相手方谷口弁護士やその手足となって調査をしていた村上を買収し、事件の揉み消しを謀り、谷口弁護士は検察庁の「杉山を詐欺横領、永和信用金庫を私文書偽造、同行使で訴えるように」との指導にも拘らず、筋違いの訴因で私を敗訴に追い込んだ。永和信用金庫はその後も、後任の藤原弁護士を買収したり、大物弁護士を使ってホームページを閉鎖しろと脅迫した。

藤原弁護士はこの速記録を作成した『有限会社 大阪速記者』を私に紹介したが、この内容をすべて把握していながら、杉山が明らかな偽証をしたのに、二度目の証言を求めず、矛盾点を追及せずに終わった。

支店長以下部下の職員ぐるみの悪事を、本店主導で揉み消しを謀った、こんな反社会的組織、永和信用金庫と正義の仮面を被った藤原猛爾弁護士を徹底追及する。